

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成20年11月11日
【四半期会計期間】	第63期第2四半期（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北村 健
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務担当 北村 倍章
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務担当 北村 倍章
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第2四半期連結 累計期間	第63期 第2四半期連結 会計期間	第62期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日	自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
売上高(千円)	4,261,688	2,244,003	8,333,449
経常利益(千円)	389,468	272,136	477,441
四半期(当期)純利益(千円)	272,678	219,530	262,742
純資産額(千円)	-	9,642,214	9,560,593
総資産額(千円)	-	13,297,670	13,016,493
1株当たり純資産額(円)	-	940.45	897.39
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	26.09	21.0	24.66
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	72.5	73.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	251,661	-	588,537
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	38,706	-	365,247
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	187,304	-	109,184
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	1,542,580	1,439,517
従業員数(人)	-	212	206

(注) 1. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数（人）	212	[26]
---------	-----	------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。就業人員には、当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含みますが、いずれも該当はありません。

2 従業員数の[ ]は、臨時従業員数を外書しております。

### (2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数（人）	209	[10]
---------	-----	------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。就業人員には、当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含みますが、いずれも該当はありません。

2 従業員数の[ ]は、臨時従業員数を外書しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

##### 生産実績

当第2四半期連結会計期間の生産実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
塗料事業(千円)	1,066,878
合計(千円)	1,066,878

- (注) 1 金額は標準製造原価によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### 商品仕入実績

当第2四半期連結会計期間の商品仕入実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
塗料事業(千円)	475,447
合計(千円)	475,447

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

主として見込生産によっておりますので、受注ならびに受注残高について特に記載すべき事項はありません。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間の販売実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
塗料事業(千円)	2,244,003
合計(千円)	2,244,003

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油・原材料価格のさらなる高騰により企業収益や家計が圧迫され、また、米国サブプライム問題に端を発した世界的な金融不安の影響などにより、景気の減速感が一段と強まってまいりました。

このような環境のもと、当社グループは、環境対応型塗料の国内市場の開拓に積極的な営業活動を展開するとともに、収益性の向上を図るため、業務の効率化や経営構造改革を強力に推進するなど、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は22億4千4百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は1億9千万円、経常利益は2億7千2百万円、四半期純利益は2億2千万円となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、総資産は2億8千1百万円増加、負債は2億円増加、純資産は8千2百万円増加しました。

総資産の増加の主なものは投資有価証券5億4千3百万円、減少の主なものは保険積立金3億4千3百万円であります。

負債の増加の主なものは仕入債務9千7百万円、未払法人税等8千2百万円、リース債務6千7百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは利益剰余金2億1千9百万円、減少の主なものは自己株式1億2千1百万円となっております。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、投資有価証券取得による支出4億5千3百万円などがありましたが、全体として第2四半期期首残高より3億1千6百万円増加し、15億4千3百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、4億4千3百万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益の3億8千1百万円、仕入債務の増加による1億円、減少した資金では売上債権の増加による7千1百万円であります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により増加した資金は、1千1百万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では有形固定資産の売却による3億8千5百万円、生命保険金の満期による4億円、減少した資金では、有形固定資産の取得による2億6千5百万円、投資有価証券の取得による4億5千3百万円、関係会社株式の取得による1億4千3百万円であります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、1億3千8百万円となりました。

その主な要因は、自己株式の取得による1億2千1百万円であります。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、4千8百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末の経常的な設備の更新計画を除き、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成20年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	-
計	12,000,000	12,000,000	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

( 5 ) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
北村 初美	大阪市福島区	1,981	16.50
北村 サト子	大阪市福島区	1,635	13.62
イサム塗料栄勇会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	917	7.64
北村 健	大阪市福島区	811	6.75
第一生命保険相互会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	767	6.39
進勇商事株式会社	大阪市福島区鷺洲2-15-24	225	1.87
イサム塗料従業員持株会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	194	1.62
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5-1	180	1.50
イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2-15-24	170	1.41
石原産業株式会社	大阪市西区江戸堀1-3-15	120	1.00
計	-	7,000	58.33

- (注) 1. イサム塗料栄勇会は取引先を対象とした持株会であります。  
 2. 上記のほか、当社所有の自己株式が1,748千株(所有株式数の割合:14.56%)あります。

( 6 ) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,748,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,121,000	10,121	-
単元未満株式	普通株式 131,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	10,121	-

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	1,748,000	-	1,748,000	14.56
計	-	1,748,000	-	1,748,000	14.56

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	326	310	306	303	302	302
最低(円)	302	292	280	290	287	277

(注) 最高・最低株価は、大阪証券取引所市場第二部におけるものであります。

3【役員の状態】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,172,580	3,019,517
受取手形	1,512,426	1,439,834
売掛金	1,235,457	1,215,119
有価証券	-	200,500
商品	349,195	402,063
製品	619,817	590,561
原材料	205,831	188,866
仕掛品	70,304	69,112
貯蔵品	36,518	44,552
繰延税金資産	118,784	105,860
その他	58,869	34,117
貸倒引当金	80,000	87,000
流動資産合計	7,299,781	7,223,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,672,300	1,671,950
減価償却累計額	971,774	948,277
建物及び構築物(純額)	700,526	723,673
機械装置及び運搬具	312,038	304,255
減価償却累計額	249,960	241,104
機械装置及び運搬具(純額)	62,078	63,151
工具、器具及び備品	349,849	372,759
減価償却累計額	298,021	300,217
工具、器具及び備品(純額)	51,828	72,542
土地	942,194	942,194
リース資産	72,358	-
減価償却累計額	11,423	-
リース資産(純額)	60,935	-
有形固定資産合計	1,817,561	1,801,560
無形固定資産		
ソフトウェア	18,324	21,451
施設利用権	10,013	10,473
電話加入権	6,121	6,121
リース資産	5,392	-
無形固定資産	39,850	38,045
投資その他の資産		
投資有価証券	2,787,367	2,244,676
保険積立金	992,276	1,335,690
繰延税金資産	282,539	298,134
その他	79,296	76,287
貸倒引当金	1,000	1,000
投資その他の資産合計	4,140,478	3,953,787
固定資産合計	5,997,889	5,793,392
資産合計	13,297,670	13,016,493

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	515,470	494,805
買掛金	1,492,924	1,412,917
リース債務	26,201	-
未払金	142,285	154,812
未払法人税等	201,646	119,966
未払消費税等	28,078	17,352
前受金	415	35
預り金	56,417	56,795
賞与引当金	112,572	115,961
役員賞与引当金	-	12,500
設備関係支払手形	7,101	11,112
流動負債合計	2,583,109	2,396,255
固定負債		
リース債務	40,499	-
長期預り保証金	240,998	206,371
繰延税金負債	6,588	8,270
退職給付引当金	633,226	646,550
役員退職慰労引当金	151,036	198,454
固定負債合計	1,072,347	1,059,645
負債合計	3,655,456	3,455,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,039	1,210,193
利益剰余金	7,705,673	7,486,259
自己株式	656,241	535,320
株主資本合計	9,549,871	9,451,532
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	91,360	108,120
評価・換算差額等合計	91,360	108,120
少数株主持分	983	941
純資産合計	9,642,214	9,560,593
負債純資産合計	13,297,670	13,016,493

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	4,261,688
売上原価	2,959,897
売上総利益	1,301,791
販売費及び一般管理費	1,023,602
営業利益	278,189
営業外収益	
受取利息	7,863
有価証券利息	33,506
受取配当金	5,048
受取賃貸料	19,146
塗装情報サービス会費	11,825
生命保険満期差益	23,786
その他	12,465
営業外収益合計	113,639
営業外費用	
支払利息	597
支払補償費	927
為替差損	714
その他	122
営業外費用合計	2,360
経常利益	389,468
特別利益	
貸倒引当金戻入額	7,000
固定資産売却益	128,227
特別利益合計	135,227
特別損失	
役員退職慰労金	16,080
固定資産処分損	11,454
特別損失合計	27,534
税金等調整前四半期純利益	497,161
法人税、住民税及び事業税	211,957
法人税等調整額	12,476
法人税等合計	224,433
少数株主利益	50
四半期純利益	272,678

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	2,244,003
売上原価	1,554,675
売上総利益	689,328
販売費及び一般管理費	499,436
営業利益	189,892
営業外収益	
受取利息	4,096
有価証券利息	23,008
受取配当金	1,105
受取賃貸料	16,061
塗装情報サービス会費	8,333
生命保険満期差益	23,786
その他	7,256
営業外収益合計	83,645
営業外費用	
支払利息	299
支払補償費	645
為替差損	336
その他	121
営業外費用合計	1,401
経常利益	272,136
特別利益	
貸倒引当金戻入額	8,000
固定資産売却益	128,227
特別利益合計	120,227
特別損失	
固定資産処分損	11,454
特別損失合計	11,454
税金等調整前四半期純利益	380,909
法人税、住民税及び事業税	190,591
法人税等調整額	29,244
法人税等合計	161,347
少数株主利益	32
四半期純利益	219,530

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年9月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	497,161
減価償却費	59,147
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,325
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	47,418
賞与引当金の増減額(は減少)	3,389
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,500
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,000
受取利息及び受取配当金	46,418
支払利息	597
為替差損益(は益)	714
有形固定資産売却損益(は益)	128,227
有形固定資産処分損益(は益)	11,454
売上債権の増減額(は増加)	92,930
たな卸資産の増減額(は増加)	13,489
仕入債務の増減額(は減少)	96,661
未払消費税等の増減額(は減少)	10,726
その他	9,627
小計	348,369
利息及び配当金の受取額	34,166
利息の支払額	597
法人税等の支払額	130,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	251,661
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	50,000
有価証券の売却及び償還による収入	200,000
有形固定資産の取得による支出	265,646
有形固定資産の売却による収入	384,674
投資有価証券の取得による支出	690,934
投資有価証券の売却及び償還による収入	120,000
保険積立金の積立による支出	58,293
保険積立金の払戻による収入	400,022
その他	1,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	38,706
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	121,303
リース債務の返済による支出	12,923
配当金の支払額	53,069
少数株主への配当金の支払額	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	187,304

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

現金及び現金同等物の増減額（は減少）	103,063
現金及び現金同等物の期首残高	1,439,517
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,542,580

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	(1)重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 たな卸資産 棚卸資産の評価基準及び評価方法については、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、次のとおり変更しております。 製品・仕掛品 総平均法による原価法から総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) 商品・原材料・貯蔵品 先入先出法による原価法から先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

	<p>当第2四半期連結累計期間                  (自平成20年4月1日                  至平成20年9月30日)</p>
	<p>(2)リース取引に関する会計基準の適用                  所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を、第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。</p> <p>リース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、期首に前連結会計年度末における未経過リース料期末残高相当額(利息相当額控除後)を取得価額としてリース資産を計上する方法によっております。</p> <p>また、少額リース資産、短期リース資産等については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。</p>

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
(有形固定資産の耐用年数の変更) 当社及び連結子会社の機械装置については、従来、耐用年数を5～10年としておりましたが、当第2四半期連結会計期間に8～10年に変更しました。 この変更は、平成20年度の税制改正を契機に減価償却システムの耐用年数を見直し、整備したたことによるものであります。 当該変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高は6,608千円となっております。	輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高は12,099千円となっております。

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)																				
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。																				
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">運送費</td> <td style="text-align: right;">110,261千円</td> </tr> <tr> <td>宣伝費</td> <td style="text-align: right;">82,754千円</td> </tr> <tr> <td>役員報酬</td> <td style="text-align: right;">42,669千円</td> </tr> <tr> <td>従業員給料</td> <td style="text-align: right;">316,481千円</td> </tr> <tr> <td>賞与及び賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">88,947千円</td> </tr> <tr> <td>福利厚生費</td> <td style="text-align: right;">77,301千円</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">6,022千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">30,985千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">36,446千円</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td style="text-align: right;">74,453千円</td> </tr> </table>	運送費	110,261千円	宣伝費	82,754千円	役員報酬	42,669千円	従業員給料	316,481千円	賞与及び賞与引当金繰入額	88,947千円	福利厚生費	77,301千円	役員退職慰労引当金繰入額	6,022千円	退職給付費用	30,985千円	減価償却費	36,446千円	支払手数料	74,453千円
運送費	110,261千円																			
宣伝費	82,754千円																			
役員報酬	42,669千円																			
従業員給料	316,481千円																			
賞与及び賞与引当金繰入額	88,947千円																			
福利厚生費	77,301千円																			
役員退職慰労引当金繰入額	6,022千円																			
退職給付費用	30,985千円																			
減価償却費	36,446千円																			
支払手数料	74,453千円																			

当第2四半期連結会計期間  
 (自平成20年7月1日  
 至平成20年9月30日)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額  
 は次のとおりであります。

運送費	54,524千円
宣伝費	27,468千円
役員報酬	21,134千円
従業員給料	151,878千円
賞与及び賞与引当金繰入額	43,434千円
福利厚生費	38,476千円
役員退職慰労引当金繰入額	3,011千円
退職給付費用	16,101千円
減価償却費	18,265千円
支払手数料	41,229千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年9月30日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借  
 対照表に掲記されている科目の金額との関係

(平成20年9月30日現在)

現金及び預金勘定	3,172,580千円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	1,630,000千円
現金及び現金同等物	<u>1,542,580千円</u>

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 12,000,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 1,748,241株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	53,263	5	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年11月4日 取締役会	普通株式	51,259	5	平成20年9月30日	平成20年12月4日	利益剰余金

5. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

当社は、平成20年8月4日付けで自己株式を400,000株取得いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間において自己株式が1億2千1百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は6億5千6百万円となっております。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社グループは各種塗料の製造・販売を主事業としておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める塗料事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当社グループは、デリバティブ取引を全く利用しておりませんので、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 940.45 円	1株当たり純資産額 897.39 円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,642,214	9,560,593
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	983	941
(うち少数株主持分)	(983)	(941)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額 (千円)	9,641,231	9,559,652
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期 末(期末)の普通株式の数(株)	10,251,759	10,652,687

2. 1株当たり四半期純利益

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純利益 26.09 円 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 21.00 円 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純利益		
四半期純利益(千円)	272,678	219,530
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	272,678	219,530
期中平均株式数(株)	10,452,223	10,451,889

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第63期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)中間配当については、平成20年11月4日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....51,259千円

1株当たりの金額.....5円

支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成20年12月4日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月10日

イサム塗料株式会社  
取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 竹村 明 印  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 松嶋 秀行 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。